室蘭工業大学
学術資源アーカイブ
Muroran Institute of Technology Academic Resources Archive

序文

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 室蘭工業大学
	公開日: 2022-03-29
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 川村, 志麻
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/10258/00010491

序 文

2021 年，新たに出現した「オミクロン株」により，第 6 波の拡大が危惧されている。新型コロナウィルス感染症の拡大に対し，今までの経験を活かし，まずは人的被害を最小限に食い止め，さらには社会活動の維持に向けた取り組みが急務となっている。

当時を振り返ると，世界的に新型コロナウィルス感染症が広がりを見せた 2020 年 1 月， 北海道においても海外からの旅行者に感染が確認され，その後，北海道内の感染者急増に伴い，2 月 28 日に第 1 回目の「北海道緊急事態宣言」が発表された。この間，室蘭工業大学では，この新型コロナウィルス禍における対応策を図るべく，2020 年 3 月 19 日に，本学危機管理対策本部に新型コロナウィルス感染対策室を立ち上げ，遠隔授業方法をはじめ，教育・学生生活に関わる対応について議論を重ねてきた。その結果，北海道内では，いち早く前期授業の開始（4 月 22 日）に至っている。

本特集号は，本学の新型コロナウィルス感染症対策で議論された内容ならびにコロナ禍における本学での遠隔授業の取り組みについて，「教育環境の整備」，「遠隔授業のためのシステムの構築」，さらに「コロナ禍にある教育への取り組みの現状と今後の課題」の３つのテーマを学内より募集し，それらの取り組みについて取り纏めたものである。2020 年から 2021 年の約 1 年半の間，教育と研究活動に停滞がないよう，教職員一丸となって取り組んだ成果を，ここでは提示したい。

一方，現在もなお学生諸君には不自由な教育研究環境を強いていることも事実である。今後は，得られた経験を糧に，更なる改善が必要である。「ウィズコロナ」，「ポストコロナ」に向けて，さらには新たな感染症拡大の可能性も含め，本特集号の内容が大学教育の一助になれば幸いである。

もの創造系領域　社会基盤ユニット
ユニット長　川村　志麻